



平成29年2月14日発行
伊勢市教育研究所
伊勢市桜木町55-1番地

第2回 不登校児童生徒支援委員会を開催



平成29年1月17日(火)、第2回不登校児童生徒支援委員会を開催しました。

不登校児童生徒支援委員会では、子どもたちや保護者にどのような支援をしていけばよいかについて、各校の先生方と教育支援センター NEST が共に考えてきました。第1回目は、皇學館大学 教育学部 渡邊賢二教授をお招きし、「ブリーフセラピーの理論と実践」という演題で講演をしていただきました。今回は、本年度のまとめとして、修道小学校 二見久美子教諭による SST*の取り組み紹介と教育研究所 村木俊一研修員による研究報告を行いました。研究報告のあとは、7つの校区别グループに分かれて、報告について意見を交流したり、校区の児童生徒の情報共有を行ったりしました。最後に渡邊賢二教授からご助言をいただきました。

*SST: Social Skills Training (ソーシャルスキルトレーニング)

「良好な人間関係をつくり、保つための知識と具体的な技術やコツ」

修道小学校 二見久美子教諭による取り組み紹介(概要) 「学級経営に SST を取り入れてみませんか ～不登校予備群をつくらないために～」



修道小学校では研修テーマに「一人ひとりがわかる授業づくり」を掲げ、QU や CRT をもとにした学級の分析を行い、学級に合った手立てを検討している。

学級経営の一つとして、SST に取り組み、子どもたちにとって教室を居心地のいい場所に、学校を「来たいと思える場所」にしていきたいとの思いで進めた。SST を子ども個人に取り組みせる方法もあるが、学級全体で取り組むと、みんなで同じスキルを学ぶことで、集団として認め合おうとする力が育つ。課題の提示の仕方は、実際に起こったことを取り上げたり、考えさせたいことを資料などで提示したりして工夫した。今回は、皇學館大学 渡

邊教授ゼミの学生の協力を得た。授業の中で学生の寸劇を子どもたちが見ることで「上手に人の話を聞く」について学級全体で学んだ。SST の取り組みでは、授業中はさることながら、学んだスキルが普段の生活でできているかどうかを授業のあとで見届け、声をかけて認めていくことが大切である。

※村木俊一研修員の研修報告につきましては、伊勢市教育研究所「所報第21号」に掲載します。

皇學館大学 教育学部 渡邊 賢二 教授 助言から（一部）

治療的な SST のプログラムはこれまでずっとやってきている。クラスサイズの SST がなぜ効果があるのだろうか。ソーシャルスキルの低い子が高い子をモデリングすることができるし、教師も取り組みやすい。SST を成功させるカギは、子どもの最初のモチベーションを上げること、やったらやりっ放しではダメで、やったことを日常生活に活かすこと、チェックすることが大切である。

村木研修員が、不登校傾向のある生徒の hyper-QU の特徴を報告していたが、特に「対人関係におけるかかわる力の弱さ」の部分で、ソーシャルスキルが身に付いているか、いないかという点が非常に大きい。学校生活においては、ソーシャルスキルがベースにあって、ソーシャルスキルが身につけている子どもは、意欲も高いし満足度も高くなり、全体的に他の数値も高くなる傾向があると思う。反対にソーシャルスキルが身につけていないと、他人とのかかわりが上手くいかずに孤立感を感じやすい。そして承認感も低くなり、学校に出にくくなっていくという負の連鎖が想像できる。

SST は、定期的・戦略的にやるのが大切で、効果が上がる方法を研修で身につけていかななくてはならない。先生が元気でないと子どもは元気でない。先生が笑顔でないと子どもが笑顔にならない。



アンケートでは、たくさんの感想やご意見をいただきました。一部を紹介します。

- ・中学校区でグループとなって交流させていただくことができ、より具体的な内容で不登校支援について学ぶことができました。大変貴重な時間となりました。
- ・二見先生の実践が大変参考になりました。特にふわふわ言葉、ちくちく言葉の授業を通し、家庭への発信も行われていることがすばらしいと感じました。
- ・すべての取り組みがソーシャルスキルの獲得につながっているから、日常の取り組みに意識すればいつでも活かせる。
- ・不登校児童生徒を生まない学級づくりというテーマが良いと思いました。すべての（不登校児童生徒がいない場合も）教員が研修できるからです。また、不登校気味になった時の対応を教えていただける研修も必要かと思います。不登校児童生徒のみならず、あらゆる課題に対応する際、担任として学校としてどのように対応していく必要があるかを学ぶ機会もあるといいと思います。

「絵カードがどこで手に入るのか」とご質問がありましたが、二見久美子教諭が今回紹介されたのと同じ SST 絵カードを教育支援センターNEST でも購入しました。詳しくはお問い合わせください。今後もさらに「不登校児童生徒支援委員会」を充実させていきたいと考えています。

各校の先生方、一年間ありがとうございました。

【 教育支援センター NEST 】

